

特別研修

月例研究会 議事録 (10 月)

2010 年度第 7 回

報告題名 中国「新型農村合作医療制度」に対する農家の意向調査結果分析

—北京市A鎮・山東省B鎮・湖北省C鎮を事例として—

報告者 張 雅青

日時 10月28日 午後3時～

(所属分野) 農業経営経済学

場所 第2講義室

座長 宮里

議事録担当者 渡部

出席者

長谷部、木谷、米倉、石井、小山田、張、韓、ステン、八木、神浦、福田、宮里、渡邊、威、王、北村、滝田、覃、堀、山口、林、泉井、Intan、Sudirman、Lies、金(銀)、黄、片山、千葉

報告要旨

中国政府は農村医療問題を解決する決め手として「新型農村合作医療制度」(以下「新農合」と略)の設置を決定し、2003年から試験的实施に踏み切った。同制度の具体的な運営はそれぞれのちいきによって異なるため、医療システムの諸問題に関する研究は、地域間の比較分析が有効である。そこで、本研究では、産業構成などの違いにより経済発展レベルの異なる3つの地域を対象として取り上げ、それら対象地域で関係機関の聞き取り調査と農家アンケート調査を行い、各地域における「新農合」の普及・定着状況や、農村住民の「新農合」に対する意向について検討した。

その結果、「新農合」に対する政府の宣伝が十分ではない中、農家は「新農合」の実施について高く評価し、加入意欲も非常に高い。ただし、いずれの地域でも「看病費」(高受診費用)の問題が見られる。その原因は医療費の高騰と不十分な給付額に求められる。特に、貧困地域(C鎮)では給付率が低いため、医療衛生支出額は家計総支出額の中で大きな割合を占めており、生活を圧迫している。そのため、農家は制度の設計・運営機構及び医療機構の改革をすべきと強く訴えている。「新農合」の実際の運営に対する評価も、3地域のいずれでも批判的な意見が大宗を占め、今後「新農合」を拡充させていくにあたって依然として大きな課題を抱えている。

質疑・応答

長谷部：アンケートを行う前の仮説は？

張：アンケートを行う前に予備調査を行っている。予備調査でも「まとめ」のような結果となり、『新農合』の実施について高く評価を行っていた。

長谷部：アンケートを行う前に結果が分かっていたということか？

張：予備調査の際の関係機関での聞き取り調査の時、関係ある部門での聞き取り調査で農村住民がどのような意見を持っているかも聞いた。それから戸別の農家への予備調査の聞き取り調査で、ほとんどの農民が同じ意見だったので、より詳しいアンケートを作成して聞き取り調査を行った。目標は農民一人一人がみんなと同じ意見を持っているかそうでないかを知りたいと思って行った。

八木：こういう制度は所得格差の是正につながっているかというのが問題だと思うが、それぞれの村での加入率はどのようになっているのか？またスライドの19でB鎮において『納付する』という意見が多いが、例えばA鎮だったらお金があるから納付しないという意見が多いのも分かるが、なぜB鎮だけほかの地域との差が出たのか教えてほしい。

張：このアンケートの結果(スライド19)は、農民たちに『なぜ給付金が少ないか』という問題について、『個人の納付が少ないため』という意見が多かったので、個人納付額の増加によって給付率が上がるのならば、個人納付額が増加しても給付するかという質問に対する結果である。その結果、A鎮は元々全国的に見ても給付率が高く給付範囲も広いため、今のままで大丈夫だという意味で『納付したくない』という意見が多い。B鎮の場合はある程度経済力を持っているが、給付率も低く給付範囲も狭いため、農家の経済力に負担にならない程度に納付額を増やしても、それで給付率や給付範囲が広がるのなら、という理由で『納付する』という意見が多い。C鎮の場合は農家の経済力もないので給付率も低く給付範囲も狭いが、ここの農家は病院にあまり行かないので個人納付額を増やしてもあまりメリットが感じられないため、個人の経済力の負担にならない程度の納付額であってほしいと思うため『納付したくない』という意見が多い。最初の質問の加入率については、調査地域の基礎データの中に記載されている。どの地域でも「新農合」の加入率は高い。

宮里：この研究を今後どのようにまとめてゆくのか教えてほしい。今回の報告ではどの地域でも「新農合」はあるべきだという意見が多いが、一方でどの地域でも診察料が高いのではないかと意見だったが、そういった結果を踏まえてどのようにまとめるのか教えてほしい。

張：今まで関係機関への聞き取り調査やアンケート調査を行ったが、その結果制度面や管理面等々から様々な問題を取り出して、この「新農合」の実施に関する問題の解決策をいくつか提案したい。これから例えば、商業保険制度を利用してより健全な保険制度を作ろうと考えている。それから、保険金基金機構の改革提案もやっている段階だ。これらの改善方法について取り組んでおり、詳しい分析方法についてはロジスティック回帰分析を用いて分析しようと思っており、これらについては次回報告したい。